



平成19年8月16日

各 位

会 社 名 応 用 地 質 株 式 会 社

代 表 者 の

役 職 氏 名 代 表 取 締 役 会 長 田 矢 盛 之

(コード番号 9755 東証第一部)

問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 経 営 企 画 本 部 長

佐々木 和彦

TEL:03-3234-0811

平成19年12月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年2月15日の平成18年12月期決算発表時に公表した平成19年12月期の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成19年12月期 連結中間業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成19年2月15日発表）	24,000	—	2,600	1,380	—
今回修正予想（B）	25,379	2,837	3,375	1,868	64 32
増減額（B－A）	1,379	—	775	488	—
増減率（%）	5.7	—	29.8	35.4	—
前中間期（平成18年6月）実績	23,067	2,282	2,665	1,376	46 49

2. 平成19年12月期 個別中間業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成19年2月15日発表）	15,200	—	1,550	800	—
今回修正予想（B）	15,520	1,636	1,848	959	33 03
増減額（B－A）	320	—	298	159	—
増減率（%）	2.1	—	19.3	19.9	—
前中間期（平成18年6月）実績	15,587	1,352	1,523	797	26 94

3. 平成19年12月期 連結通期業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成19年2月15日発表）	41,300	1,900	2,450	1,240	42 64
今回修正予想（B）	41,300	2,100	2,700	1,450	50 14
増減額（B－A）	－	200	250	210	－
増減率（%）	－	10.5	10.2	16.9	－
（ご参考） 前期実績（平成18年12月期）	39,431	1,705	2,558	1,455	49 41

4. 平成19年12月期 個別通期業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成19年2月15日発表）	24,300	900	1,250	670	23 04
今回修正予想（B）	24,300	900	1,250	670	23 17
増減額（B－A）	－	－	－	－	－
増減率（%）	－	－	－	－	－
（ご参考） 前期実績（平成18年12月期）	24,445	750	1,232	720	24 47

5. 修正を生じた理由

平成19年12月期の中間業績（連結）は、イスタンブール市地震被害予測業務の進行基準による売上計上などを含む国内グループ会社の売上増により、当初の予想を上回る収入となりました。

損益ベースでは、応用地質㈱単体の継続したコスト削減の取り組みと、国内グループ会社全体の収益性の改善により、営業利益が当初の予想を上回りました。加えて持分法による投資利益の増加と、金融収支、特別損益が当初の見通しより改善したため、経常利益ならびに当期純利益が増益となりました。

なお、当社及び当社グループは、官公庁・公共企業体をはじめとした公共部門との取引比率が高いことから1～3月の完成業務が多く、利益も売上高の多い上半期（中間期）に偏り、下半期は赤字となる傾向にあります。

当期の応用地質㈱単体の通期業績予想については、下期に創立50周年事業および関連諸行事に伴う経費増が見込まれることから、当初予想を変更していません。

以 上